

議 事 録

議事の内容		R 6 年度第四回誰もが遊べる公園広場整備のためのガイドライン検討会議		
開催日時		令和 6 年 1 2 月 2 1 日 (土) 開会：1 0 時 0 0 分 閉会：1 2 時 0 0 分		
開催場所		守谷市役所 1 階 中会議室		
事務局 (担当課)		都市整備部建設課		
出席者	委 員	町田会長、塚原委員、古谷委員、清委員、須賀委員、奥谷委員、青山(秀)委員、草間委員、村山委員、小路委員、梶澤委員、長津委員、小菅委員、青山(真)委員、浅野委員 (出席 1 5 名 / 1 6 名)		
	事務局	(建設課)奥野課長、大久保課長補佐、飯沼係長、遠藤主任、稲葉主事 (ジャクエツ)上野氏、澤村氏、白井氏、瀬尾氏 (オオバ)望月氏、山口氏 (計 1 1 名)		
公開・非公開 の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 人
公開不可の場合は その理由				
議事次第		1 開会 2 社会実験の報告 3 意見交換 4 ガイドライン素案の説明 5 意見交換 6 今後のスケジュールの説明 7 閉会		
確 定 年 月 日		会 議 録 署 名		
令和 7 年 / 月 14 日		町田 誠		

1 開会

2 社会実験の報告

事務局から、社会実験の報告（社会実験の概要や当日の様子を報告）

3 意見交換

町田会長：社会実験について、ご意見やご質問はありますか。

長津委員：知的障がいのある方が楽しめる場所が無かったので残念だった。スタッフの案内がなくイベントに慣れていない感じだった。

また、小さな子ども向けのイベントだと感じた。検討会で社会実験の取り組みを考えていければ良いのではと感じた。

町田会長：社会実験の目的の一つはアンケートの収集だが、この後報告があるアンケート結果を鵜呑みにしてガイドラインに反映させてはいけないと思う。

青山委員：中学生の吹奏楽等のステージイベントでは、保護者も演奏前から待機していたため、人が集まることによって他の人が増えていく相乗効果があって良いと感じた。

塚原委員：私はペットを連れて参加させてもらった。他にもペット連れの方が多くいたが、飲食スペースにペットを繋げるためのポールがあると良かったのではないかな。遊具については、スタッフの説明はあったが、掲示物等は無かったため、使い方やコンセプトが書かれた案内板があると理解が深まって良いのではと感じた。

町田会長：市民が理解できるような案内板やペット用のポール等、仕掛けや工夫等の気遣いがあれば良かったのではないかな。

小菅委員：私は2日間楽しませてもらった。健常者の子どもと車いすの子どもで参加した。健常者の子どもの意見としては、全体を通じて楽しめた。車いすの子どもの意見としては、ワークショップのような座ったままでする遊びは楽しめた。遊具について、スタッフがいる場所は上手く誘導が出来ていたが、スタッフがいなかった場所では誘導ができていなかった。車いすの子どもが遊具で遊ぶ場合は、体の負担や時間がかかるため、イベントでは各エリアスタッフがいれば安心できる。

また、おむつ交換の場所が無くて困ったので、本部の横にあったスタッフ控え室のテントのような目隠しした場所があると良かった。

他の市からも来られている方もいて注目度があったイベントだった。

4 ガイドライン素案の説明

事務局から、前回までの検討会での意見を反映した箇所や変更点を中心に説明

- ・インクルーシブルという用語を市民に広く周知し、この用語を浸透させたいという意味で、タイトルを「誰もが遊べる」から「インクルーシブな」に変更している。後程、委員の皆様のご意見を頂戴したい。

- ・P1から順次説明。

- ・P43の②の精神的側面の「精神的な強さ」という表現について、後程、委員の皆さまか

らご意見を頂戴したい。

- ・まとめとして、このガイドラインで示した方針については、一気に 61 公園の整備・改修をするものではない。また、記載された遊具やトイレ等が全ての公園に配置されるものではない。すでに設置されている遊具や施設が老朽化等によって更新するときには、同じ遊具にするのではなく、このガイドラインの方針に適合した遊具や施設で更新する。
- ・併せて、段差解消や園路整備も同様にガイドラインの方針に沿って改修を進める。
- ・令和 3 年度に策定した公園施設長寿命化計画については、ガイドラインと整合させるため、今後必要な見直しを検討する。
- ・これらを踏まえて、P36 の将来像に少しずつ近づけて、皆さまが利用しやすい公園づくりを目指していきたい。

5 意見交換

町田会長：最初に、タイトル及び内容の同表記について、ご意見を伺いたい。

奥谷委員：インクルーシブが良いと思う。みずき野では防災計画を市へ提出しているが、今後の公園の在り方について防災と公園を結び付けていく必要はある。

清 委員：インクルーシブという表現は違和感がなくて良い。

塚原委員：教育としての観点でもインクルーシブの表記は良い。全く知らない人も見て分かる説明があると良い。

小路委員：内容が分かりやすくインクルーシブで良いと思う。インクルーシブデザインについての説明がもう少しあっても良い。

町田会長：P43「精神的な強さ」という表現についてご意見を伺いたい。

古谷委員：メンタルヘルスの観点からすると、「あきらめない」や「チャレンジする」ということなら「メンタルタフネス」を育むという言葉が適しているかもしれない。

町田会長：ほかにも言い回し方はあるかもしれない。精神的側面という書き方はどうなのか。

長津委員：私たちの子どもは見たものに対し反応が早いため、我慢することや、順番を守る等の言い聞かせ方はとても難しい。周りの人たちを観察するという部分もあるので精神的側面と社会的側面にまたがってしまう。精神的側面に書かれている「あきらめない、がんばる、チャレンジする」という表現だけでは言葉が足りないのではないかな。市や管理人が順番を守るように声掛けをすることも必要ではないかな。

奥野課長：私たちが公園にずっといることはできないため、P47 のあそび場整備のチェックリストにあるように「あそびの決まり」を掲示していきたい。

長津委員：自分の子どもの話をしたが、我慢できないことや順番を守れない子どもだということを周りの子どもたちにも気付いてほしい。「なんだこの子は」という目で見られるので、自分の気持ちをコントロールできない子がいることを周りの子にも理解してもらいたい。

町田会長：社会的側面のところも割とあっさり書かれている。例えば「協調性」のことやお互いを思いやる気持ちについての記述を充実させてほしい。

青山委員：言葉で分けるのは難しいと感じるため、「フィジカル」と「メンタル」に分けてはどうか。

町田会長：あそびの側面を5つに分ける前に、まず、2つに分けても良いかも知れない。

古谷委員：5つの側面とは何から引用しているのか。

JQ上野：早稲田大学前橋明先生と子どもの成長発達を研究しており、その中で子どもたちの成長に必要とされた5つの要素として決めたものである。表現については守谷市と打合せの上、記載した。

町田会長：P41 ウェルビーイングと5つの側面についても引用してるところや研究のことを明記しても良いのではないか。

小路委員：P47の表記は、公園の分類みたいに受け取られるのではないか。全ての公園と受け取られないよう誤解のない表現にした方が良い。

奥野課長：あそびの種類について分類してあり、そのように記載している。

町田会長：表16の上の記述を再考しても良いと思う。

清 委員：P23③コスト縮減について、現状や課題の整理と対応の方向性で人口増減の記述から、いきなりコストの話はどうか。コストは考えるべきであることだが、まずは公園の修繕計画を立てる等、文言を検討してはどうか。

奥野課長：P23③については修正したい。

清 委員：P23①に「自然環境を活かした公園整備」という文言を入れてはどうか。守谷市は自然環境に恵まれた場所であるということを伝えるべきだと思う。

町田会長：地域特性を利活用した内容を盛りこんでも良いのではないか。

奥谷委員：P49 植栽管理について、植えた木に蜂が来るため、リスクとして蜂が出ることも記載してほしい。また、ただ危ないだけでなく、将来的に大きくなった木はどうするか等も含めたリスクを想定してほしい。

奥野課長：大きくなった木のリスクは承知しており、危険木調査の結果だけではなく、地元の要望も聞きながら伐採や剪定等を実施している。

青山委員：公園の整備について、ハード面で充実させても誰も使っていない状態が出てくるともったいなく思う。各公園にはどんな活用方法や、誰がどのようなイベントを行っているのか等を明記してほしい。

町田会長：公園の利用促進につながる。

奥野課長：市のHPでも公園毎の特徴等を案内している。

町田会長：ガイドライン内での納まりの都合もあるため、後書き程度で記載してはどうか。

小路委員：P38で駐車場整備の検討とあるが、アクセス方法は車以外もあり、車を持たない人もいるので、公園への行き方や周辺のバス停などの記載があっても良いのではないか。

また、公園マップのようなものや、それぞれの公園の特徴について記載があっても良いのではないか。

町田会長：P38の公園マップについて、オレンジの文字(ボール遊びのできる公園)が見づらく、他の言葉も読み取れないところが見受けられるため修正が必要。

奥野課長：公園への行き方などは住んでいる地域によって違う。また、公園の特徴やマップについてはガイドラインに記載しているほか、市HPでも案内している。

桃澤委員：公園でキッチンカーなどを使うとき、利用料は取っているか。

遠藤主任：公園内での個人の営利目的の販売について、基本的に市は認めていない。ただし、公益性のあるイベント(盆踊りや防災訓練等)内で行うものは協議の上、可否を判断している。

町田会長：パーク PFI 等に係る内容であるが、カフェ等入れると賛否両論ある。

青山委員：トイレについて「きれいなトイレ」を目指してはどうか。トイレが汚いと使わない。サービスエリアやホテルのようなヒーター付きのウォッシュレット付き様式トイレは素晴らしいと感じる。けやき台公園は和式がある。

町田会長：公共の公園のトイレを自宅のトイレくらいに整備できたらすごいことである。最後に、社会実験のアンケート調査について報告を願う。

奥野課長：社会実験で、アンケートは 1157 件集まった。多かった意見としては、「年齢別の遊具」や「自然とふれあい季節を感じる場所」などを求めるものが多かった。

長津委員：アンケートについて、トイレに関する声も多いようだが、男女別になっておらず、一緒になっているところもまだまだある。トイレの向きや配置場所も考えてほしい。

見守りやすい場所としては、外からも見守られている場所があると良い。

町田会長：P38 に合わせて記載してはどうか。

塚原委員：遊具について、大人や高齢者向けの物も考えて行ってほしい。

奥野課長：P36 に記載している。

町田会長：P54 の管理許可については、サービス水準に関する記述も必要。

6 今後のスケジュールの説明

- ・今回頂いた意見を反映し、大きく変更がなければ検討会は開催せず、修正案をメールや郵送等で共有する方法で良いか。

町田会長：反対意見は無いため、次回は開催せず、原案を届けるということで決定したい。

小路委員：今日の意見に対し、どう反映したかを記載してほしい。

7 閉会

8 その他、意見

- ・P39 表 15 より上、3 行の文章内の 1、2 行目
「視聴覚障がい」→「視覚・聴覚障がい」に修正すること。

以上